

令和3年度第1回富里市男女共同参画社会づくり懇談会
議 事 録

〈日時〉 令和3年11月30日（火）
午後1時30分～2時40分
〈場所〉 中央公民館2階研修室

■出席者

- 【委員】 渡邊 薫（教育関係者）
秋葉 隆（富里市商工会）
田口 実栄子（千葉県男女共同参画地域推進員）
古賀 恵美子（まちづくりコーディネーター）
大森 秀明（公募委員）
本多 円佳（公募委員）
宮本 和子（富里市民生委員児童委員）
山室 俊夫（富里市企画財政部長）
- 【事務局】 永田企画課長、土屋課長補佐、太田副主幹、小澤
- 【傍聴人】 なし

■配布資料

- 令和3年度第1回富里市男女共同参画社会づくり懇談会次第
- 資料1 富里市男女共同参画計画（第2次）改訂版の進捗状況（令和2年度分）
- 資料2 富里市男女共同参画計画（第2次）改訂版進捗状況調査票（令和2年度分）
- 資料3 富里市男女共同参画計画（第3次）の策定について
- 資料4 富里市男女共同参画に関する市民意識調査票（案）

■次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 座長及び座長職務代理者の選任
座長は、互選により渡邊委員に決定
職務代理者として、渡邊座長が秋葉委員を指名

5 議題

- (1) 富里市男女共同参画計画（第2次）改訂版の進捗状況（令和2年度分）について

【事務局】 富里市男女共同参画計画（第2次改訂版）の概要、資料1及び資料2に基づき説明。

【委員】 全体的に、市から市民へのPR不足だと感じている。ジェンダーと言っても、ジェンダーとは何かわからない。総括や進捗状況で、どれもやっていると言われても、市民には浸透していない。周知不足だと感じている。やり方を変えた方がいいのではないか。

【委員】 コロナ禍において、家庭生活も変わり、大変な思いをされている方もいた。イベント告知やチラシ配布時に、配布数での反応や、反応しなかった方の把握もしてみたいか。

【事務局】 皆様から知恵をいただき、次期計画ではPR方法などを工夫していきたい。

- (2) 富里市男女共同参画計画（第3次）策定に係る男女共同参画に関する意識調査について

【事務局】 資料3及び資料4に基づき説明。

【委員】 アンケートをやっているということが、目に見えるようにした方がいいのではないか。自治会を通じて配布する方が回収率もあがるのではないか。

【事務局】 アンケート調査を実施するに当たっては、普段、聞くことのできない声を吸い上げることも目的であるため、郵送による調査を実施する。

【委員】 「心配ごと相談」で相談を受け付けており、必ずしも相談事が解決するわけではないが話を聞いている。しかし、「心配ごと相談」をやっていることが市民には伝わっていない。情報が市民一人ひとりに届いていないと感じる。情報網を広げてほしい。

【委員】アンケートで性別を問う設問があるが、最近のアンケートは、男女の「どちらでもない」や「答えたくない」という選択肢を設けているものが多いと感じる。

【委員】アンケート調査の抽出人数を2,000人に設定した根拠は。

【事務局】富里市にお住まいの20歳以上の男女は、42,000人おり、統計上、42,000人でアンケートを行う場合、必要な回答数は、400程度とされている。前回のアンケートの回収率である、30%程度の回収率で400の回答数を得るためには、42,000人のうち1,400人にアンケートを配布すればよいとされているが、より多くの方々の意見を伺いたいのので、2,000人としている。

6 その他

○千葉県男女共同参画地域推進員である田口委員に、県の地域推進員の活動について報告をしていただいた。

○懇談会のあり方についての意見をいただいた。

7 閉会